

プラント/構造物の寿命予測 及び 劣化防止対策

日時
2018年 9月26日 (水)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見 1 - 5 - 1)

受講料

1名 44,000円+税
2名以上1名 40,000円+税

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線 (緩行線)
地下鉄東西線 (A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線 (A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線 (A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名 住所・連絡先 (TEL・FAX・E-mail) をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかでお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講座概要、ねらい 社会インフラを含む老朽化した構造物を安全に維持するために、保全関係技術の重要性が高まっている。構造物の主構成材料である金属材料では、長い歴史の中で構造物の破損原因となる材料の損傷機構はほとんど解明され、寿命予測技術も進歩してきた。本セミナーは、プラント・構造物の設計、保全等に携わる技術者をはじめ、関連する方々に、材料の劣化損傷について蓄積された経験と研究成果への理解を深め、過去の重大損傷事例の紹介を含めて講義し、構造物の安全な維持に必要な各種手法を習得してもらうことを目指す。

講師 (株)ベストマテリア代表取締役 博士(工学) 木原重光氏
(元)石川島播磨重工業(現IHI) 基盤技術研究所長

プログラム

- ・劣化損傷とは
 1. 劣化損傷機構一覧
 2. 劣化損傷機構スクリーニング
- ・損傷機構各論
 1. 疲労
 2. 腐食
 3. クリープ
 4. 材質劣化による破損
- ・設計、製造、運転における劣化損傷因子
- ・寿命予測および防止対策
 1. 基本的考え方
 2. クリープ寿命評価
 3. 全面減肉寿命評価
 4. 疲労感受性評価
 5. 応力腐食割れ感受性評価
 6. リスクベースメンテナンス (RBM)
- ・重大事例

Solution and Consulting / 質疑応答

【事前アンケートのご質問について解説致します】

内容によって一部回答できない場合がございますので、ご了承願います。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 プラント/構造物の寿命予測 及び 劣化防止対策

セミナーコード

1101-180926

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/9/26 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
			FAX	()
				-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				